

第2期中部WIN 第2回開催レポート

開催日時：令和元年6月20日（木）14時～17時

開催場所：中部経済産業局 2階会議室 主催：中部経済産業局

●女性リーダーによるミニ講演●

日本特殊陶業株式会社 技術開発本部 廣部 由紀 氏

「The働く日本人女性だった私が、
仕事楽しい！人生楽しい！
って思うようになったヒミツ大公開」



～自分の軸で生きてみませんか～

「女性是这样あるべき」といった世間や他人の評価軸に縛られてませんか？
自分の軸で生きるとは、やりたいことしかやらないというわけではなく、
何事にも自分の軸に沿った意味をつけ、行動を習慣化し、出来ること、やり
たいことを大きく育てるということです。



①自分の軸を
知る

②戦略的に行動
を習慣化する

③Will・Must・
Canの重なりを
増やす



①自身の経験や知識から「自分の軸」がどのようなものかを知る。

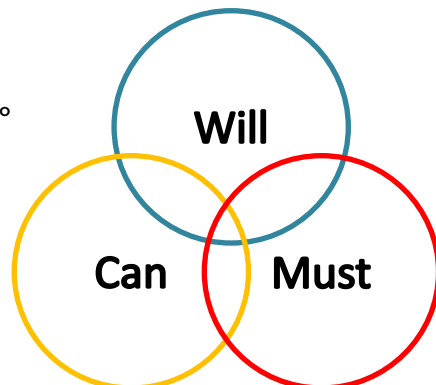
②次に何に対しても自分の軸に沿った意味を
見つけ、自分の軸に合わせる行動を習慣化する。

③Will（やりたいこと）Can（できること）

Must（やらなければならないこと）、

この3つの重なりを増やすことが、

自分の軸を増やすことにつながる。



ご自身の経験から明るくポジティブに講演いただき、参加者一同自然と
笑顔になるお話をいただきました。

●トップリダーによる講義●

土生特許事務所 弁理士 土生哲也 氏

「知的財産で引き出す 会社の底力」 ～人を育て ビジネスを広げる 知的財産の力～

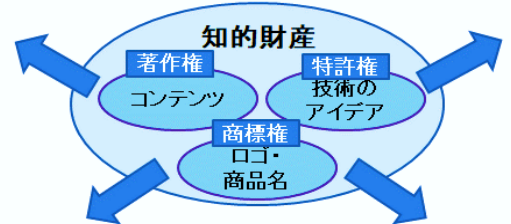


～知的財産、どう活かす？～

知的財産とは、特許権や商標権などの権利のことを指していると思っている人が多いですが、実際は仕事のノウハウ、技術のアイデア、コンテンツなど企業が活動したうえでの様々な創意工夫した成果のことを指します。

自社の知的財産に対して、まず形をつける。
(特許権や商標権など)そしてそれを外部に
働かせる。これが知的財産活用のマネジメント。
この形をつける段階で①考え、②調べること
で新たなビジネスチャンスや強みが見えてくる。

知的財産を外部にはたらかせる



①特許権などの出願に際して、自社に固有の強みである知的財産を考えることで、その知的財産に関しての理解が深まり、新たな提案や説明ができるようになる。

②他社の商品、特許を調べることでそれらでは解決できない課題を見つけ、その商品を開発することで開発のレベルをさらに上げることができる。

これらは知的財産活用の一例ですが、この活動を意識的に行っていく事で自社の強みを見える化し、わかりやすく伝えることができるようになります。さらには「自分たちにしかできない特別なことをやっている」というプライドをもたらしてくれます。

▶ 経営をデザインする

経営デザインシートを用いて、経営戦略を立てる上で「未来の社会でどんな価値を提供するのか」を考えることの重要性を説きました。

●グループワーク

グループによっては講義の時間前から集まって話し合いをしたり、講師の土生先生とディスカッションをし、テーマの更なるブラッシュアップを行っていました

